

『式 辞』

正門のさくらの花が美しく咲き誇るこの春爛漫のよき日に、歴史と伝統のある矢田中学校に入学して来られた新入生皆さん、ご入学おめでとうござります。在校生をはじめ、教職員全員が皆さん入學を心より歓迎します。

新型コロナウイルスの感染予防のため、様々な制約がある中、多くの皆様方の、ご理解ご協力を得て、第七八回入学式を開催できたことに感謝申しあげます。「ありがとうございます。」

さて、新入生の皆さん、いよいよ本日より中学校生活がスタートします。教科担任制や部活動など、期待だけではなく、不安な気持ちもいっぱいのことだと思います。しかし、これは誰もが経験することです。新しいことや未知のことに対する最初の気持ちであり、自然なことだと思います。一日も早く、中

学校の生活に慣れ、たくさんの方達をつくり、楽しい学校生活を送ることができるようにしてほしいと思います。そんな願いをこめて、入学にあたり次の二つのことを皆さんにお話ししたいと思います。

まず一つ、『皆さんは、一人一人かけがえのない命と尊厳の持ち主である』ということです。言い換えば何人もそれを傷つけることは許されない、ということです。「いじめ」や「差別」「暴力」を持つて、人の心や体を傷つけることは決して許されない、ということを理解してください。矢田中学校には、生徒会を中心となつて作られた大切な約束があります。それは「いじめを許さない、矢田中3原則」です。入学に際してそれを紹介します。一つ『自分の感情で人や物を傷つけない』、二つ『人を見下さず、対等な関係をつくる』、三つ『一人一人の個性を認め合い、偏見の目を持たない』という約束です。

先輩たちが話し合いを重ね、作り上げた大切な約束です。覚えておいてください。

皆さんにお話したいことの二つ目は、『自分には大きな可能性がある』と信じることです。皆さんは、三月一八日にそれぞれの小学校で、自らの決意を述べ立派に卒業してきました。すでに義務教育課程九年間の三分の二を終え、大きな力を備えています。その上に立つて、中学校三年間をしっかりととした目標を持つて過ごすことができれば、おのずとその可能性は開けていきます。

元プロ野球選手のイチローさんは、こう話しています。「そりや、僕だつて勉強や野球の練習は嫌ですよ。誰だつてそうじやないですか。つらいし、大抵はつまらないことの繰り返し。でも、僕は子どものころから、目標をもつて努力するのが好きなんです。だつてその努力が結果として出てくるのは嬉し

いじやないですか。」と、自立した大人になるための基礎的な力を付けるのが中学校です。自分らしい自己実現に向けた進路を獲得するための、有意義な三年間としなければなりません。そのためにもまずは本日、中学校生活をスタートするに当たり、何か一つ目標を立ててください。きっと次の一步につながると思います。中学校ではその一歩一歩の積み重ねが大切なのです。

さて、最後になりましたが、新入生の保護者の皆様方には、この度のお子様のご入学、心よりお祝い申しあげます。本日ここに、かけがえのないお子様を確かに預かりいたしました。私ども教職員一同、子どもたちの良さをさらに伸ばし育んでいけるよう、誠心誠意努力する所存であります。

中学生の時期は、心も体も大きな成長を遂げます。その一方で、精神的に大きく揺れる時期でもあり、

様々な問題が起ころるかも知れません。保護者の皆様や地域の皆様とともに、私ども教職員が心を開いて連携することが問題解決の大きな原動力になると考えています。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

それでは、70人の新入生の皆さん、これからのお活躍と成長を大いに期待して式辞とさせていただきます。

令和4年（2022年）四月五日

大阪市立矢田中学校長 西川 祐功